

題材名「いい顔してたよ、あの瞬間！」…〈絵〉

小学校第5学年及び第6学年

【題材の目標】

- ・自分の心の動きを木版画で表すことに興味を持ち、自分の思いを持って取り組もうとしている。 【造形への関心・意欲・態度】
- ・自分の心の動きを表すために、取り上げる場面を思い付いたり、効果的な彫り方や配色を考えたりしている。 【発想や構想の能力】
- ・自分の心の動きを表すために彫刻刀を効果的に使い、版の彫り方を工夫している。 【創造的な技能】
- ・自分や友人の作品を楽しく見て話し合いながら、全体から表れる主題のよさや彫りなどを感じ取っている。 【鑑賞の能力】

【題材の価値】

【子どもの実態(例)】

- ・この時期の児童は、考え方や行動などに個性が見られるようになってくる。児童が、他者や社会との関係の中で自分らしさを意識するようになる。造形活動においては、他者を意識するあまり人に見せることに慎重な様子が出てくる一方、友人と活発に交流したり見せ合ったりする様子が見られる。

【主題(例)】

- ・自然教室で自分自身がいい表情をしていた時のことを想起することにより、その子らしい力が入ったポーズ、喜びに満ちたシーン、どきどきした様子などを表現することができるようにしたい。顔の表情や体の姿勢、背景や自分と友達とを組み合わせた配置などの形や様子の工夫や気持ちが表れる彩色の工夫など、一人一人が表そうとしている形や色から主題を読み解き、価値付けていきたい。また、版画の味わいや彫りの工夫などから表出される主題も見取り、価値付けたい。

【材料や用具(例)】

- ・材料や用具については、彫刻刀を扱う。彫刻刀については、第3学年及び第4学年の内容の取扱いと指導上の配慮事項の「小刀」において、「その他に木版や木の表面に模様を入れる時などに使う彫刻刀も考えられる」とある。第5学年及び第6学年においても繰り返し扱うことにより、彫刻刀を使い分けたり、効果的に彫り進めたりすることができるようにしたい。

【発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力などの価値(例)】

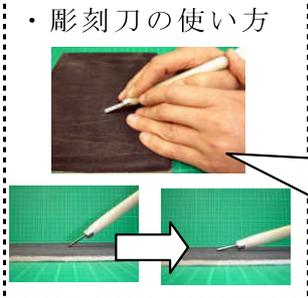
- ・子どもたちの発想を広げるために主題の異なる試作を見せ、発想を広げたり、彫りの工夫をしたりできるようにしたい。自分の表したいシーンを楽しんで下がきしたり、線の太さや彫り方を工夫したりしながら創造的な技能の力を高めたい。また、主題を伝えたり、友だちの主題を聞いて楽しんだりすることによって鑑賞の力を高めたい。

【「指導計画の作成と内容の取扱い」との関連】

第2の各学年の内容の「A表現」の(2)の指導に相当する授業時数については、工作に表すことの内容に相当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に相当する授業時数とおおよそ等しくなるように計画すること。

(小学校学習指導要領解説 図画工作編 P57より)

【板書例】

学 習 課 題 等	
<p>・ 彫刻刀の使い方</p> 	<p>※参考作品（版画の彫りの部分が参考になるもの）を板書する。</p> <p>・ キャンプファイヤーで手をつないで汗だくで踊ったよ。</p> <p>・ 飯ごう炊飯でやっと火がついた時は、みんなで喜んだね。</p> <p>・ 自由時間の時、木登りしてすごく気持ちよかったな。</p>

子どもの生の発言を板書する。

【準備物の例】

- ・ 版画用紙 版画板（滑り止めシート） 彫刻刀 版画作業板
- ・ 版画セット（ローラーなど） ばれん 新聞紙 など

発展的な学習の内容例

【学校行事や総合的な学習の時間の体験活動を生かす】

自然体験教室，修学旅行，総合的な学習の時間での活動など，子どもたちの心が大きく動く楽しい体験を生かして題材にしていくことが大切となる。

自分自身の心の動きを想起させ，表情やポーズなどに表して，絵画ならではの迫力のあるシーンを構想していくようにしたい。

【地域の美術館などの利用や連携】

地域の版画作家の作品や近隣の美術館などの版画作品を利用することも効果的である。彫り方の工夫や刷りの効果についての学習を深めることも考えられる。

【授業の具体例】 11 時間扱い

学習活動	時	評価規準	○支援や留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消しゴムに下がきをする。 ・ 彫刻刀の基本的な技術について学習し、彫る。 	1	<p>【造形への関心 ・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の名前を左右反転させたり、彫る場所を工夫したりして、版づくりを楽しもうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 版画製作の基本を身に付けるために、消しゴムはんこづくりを導入にする。 ○ 彫刻刀の扱い方を指導し、安全面の約束をする。また、版画の特性として、版は左右が反転することを教えるとともに実際の製作を通して感じ取らせる。 ○ 名前を彫る方法と名前以外の場所を彫る方法があることを教え、完成のイメージを考えるようにすることで、個々の構想が広げられるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然教室で自分がいい顔をしていたなと思う瞬間の表情やポーズを想起する。 ・ 木版画の元となる下がきをする。 ・ 下がきを写す。 ・ 彫刻刀の彫り方の効果を知る。 ・ 彫る面と彫り方を決める。 	4	<p>【造形への関心 ・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の心が大きく動いた場面を思い出しながら、自分の気持ちを表すことに取り組もうとしている。 <p>【発想・構想の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の心の動きを表すために、取り上げる場面を思い付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然教室の思い出を伝え合わせたり、版画の技法などを見せたりすることを通して、作品への発想が広がるようにする。 ○ 「どんな場面の何をかくか」だけでなく、「どのようにかくか(表情や姿勢、構図など)」というイメージを考えるようにすることで、個々の構想が広げられるようにする。 ○ 彫りの線が下がきの線よりも太くなることから、大きめに下がきすることを伝える。 ○ 彫りの効果を教え、彫る場所を決めることができるように指導する。また、下がきを見たり、対話したりしながら表現したいことを見取り、効果的な彫りについて適宜アドバイスをする。

<p>・木版画の基本的な技術について学習する。</p>	<p>5.5</p>	<p>【創造的な技能】</p>	<p>○思うように彫れずに困っている子どもに対しては、刀の状態や扱い方を確認し、適宜アドバイスをする。</p>
 <p>右手で彫刻刀を支え、左手の親指で前に押し彫るなどの基本的な押さえをする。</p>		<p>・彫刻刀を使って、自分の心の動きを表すために、彫り方を工夫している。</p>	<p>○彫刻刀の選択に迷っている子どもに対しては、その子の思いを聞き取り、いくつかの手本とその効果を伝える。</p>
<p>・彫刻刀で彫る。</p>			<p>○一人一人の顔の表情やポーズのこだわり、彫りの工夫を見取り価値付けていく。</p>
			<p>○板に付いた彫りくずは、丁寧に除去することを伝える。</p>
			<p>○子どもたちを前に集めて、一人一人がよく見えるようにした上で、刷り方について手本を示しながら教える。</p> <p>○作業の流れに沿った環境設定をする。</p> <p>○ばれんの使い方やインクの分量や伸ばし方について、適宜支援する。</p>
<p>・インクをローラーで伸ばして刷る。</p>			
<p>・表したかったその時の気持ちとそのため工夫したところを小グループで紹介し合う。</p>	<p>0.5</p>	<p>【鑑賞の能力】</p> <p>・自分や友人の作品を楽しく見ながら話し合うことで、全体から表れる主題のよさや彫りなどの表し方の工夫を感じ取っている。</p>	<p>○「いい顔をしていた一瞬」が、題名から表れるようにアドバイスする。</p> <p>○作品に表したその時の気持ちや彫りの工夫を伝え合う小グループでの話し合いの場を設定する。</p> <p>○友達の主題や工夫を聞くことで、表現意図やその効果についての理解を子どもたちが深めるように支援する。</p> <p>○平素の学校生活における鑑賞が可能となるよう、教室内や校内の適切な展示の工夫に努める。</p>

題材名「針金マジック 廃材アート」…〈針金工作〉
小学校第5学年及び第6学年

【題材の目標】

- ・廃材を利用して針金でつくることに関心を持ち、形をつくることを楽しもうとしている。
【造形への関心・意欲・態度】
- ・廃材の組合せや針金のしぼり方や丸め方などから、表したいことを思い付いたり、形や作り方を考えたりしている。
【発想や構想の能力】
- ・ペンチや金づち等を十分に使い、廃材や針金の組み合わせ方を工夫している。
【創造的な技能】
- ・自分や友人の作品を見て話し合い、互いの表し方の面白さやよさを感じ取っている。
【鑑賞の能力】

【題材の価値】

【子どもの実態(例)】

- ・高学年の児童は、丈夫な材料を扱えるようになる。また、造形活動において、一人一人の傾向や特性がはっきりしてきて、手応えのある材料や用具を使おうとするような特徴がある。そのような活動の過程において、児童は発想や構想、創造的な技能などの能力を身に付けることになる。

【つくりたいもの(例)】

- ・アルミなどの金属類を中心にした廃材と針金を用いることにより、金属の直線的な形やアルミの波打つようにへこんだテクスチャー、針金の曲線的な形や組合せなどからつくりたいものを見つけて表現することができるようにしたい。

【廃材や針金の価値(例)】

- ・金属類は、紙や木材とは、輝き方や接合による形の変化など異なった味わいがあり、児童にとって新鮮な材料である。強固な材料であるが、その一方で、柔らかな針金やアルミホイル・スチールウールなどもあり、接合方法の工夫により十分に感覚を働かせることができる材料である。また、針金は、ペンチなどを用いて適切な長さに切ったり、廃材同士をしばったりすることでいろいろな形をつくることことができる。児童が自分の方法で思いのままに表す過程を楽しめるようにするために、いろいろな表し方を体験させるとともに、用具や材料の扱いに慣れるようにしたい。

【発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力などの価値(例)】

- ・廃材同士を組み合わせ、針金でしばったり固定したりして、いろいろな形づくりを楽しめるようにしたい。また、周りの友人と関わり合いながら、自分の思いをはっきりさせたり、作りつつある形から、児童の発想や構想の能力、創造的な技能などを発揮したりできるよう配慮したい。また、ペンチや針金などの用具の特性を捉え、使い方に慣れるとともに、安全な使い方にも気を付けながら、適切に扱えるようにしたい。

【「指導計画の作成と内容の取扱い」との関連】

第5学年及び第6学年においては、針金、糸のこぎりなどを用いることとし、児童が表現方法に応じてこれらを活用できるようにすること。

(小学校学習指導要領解説 図画工作編 P64～65より)

【板書例】

学 習 課 題 等	
準備  <ul style="list-style-type: none"> ・安全面の配慮 ・ペンチの使い方 ・針金の付け方 	時間のめやす 子どもの生の発言を板書する。 ※ キーワード(どんなふうに)(何をしている)を明記していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ペンチで曲げると上手に曲がるよ。 ・布に穴を開けて、針のように刺してみたよ。 ・2つの針金を組み合わせてくるくる巻くと、きれいだよ。 	
子どもの発見した針金の技法や廃材の生かし方をメインに板書していく。	

【準備物の例】

・針金 廃材 きり ペンチ 金切りばさみ等 金づち 軍手 雑巾 など

発展的な学習の内容例

【外国語活動で作品紹介】

指導内容や活動については、児童の興味・関心に合ったものとし、国語科、音楽科、図画工作科などの他教科で児童が学習したことを活用するなどの工夫により、指導の効果を高めるようにすること。

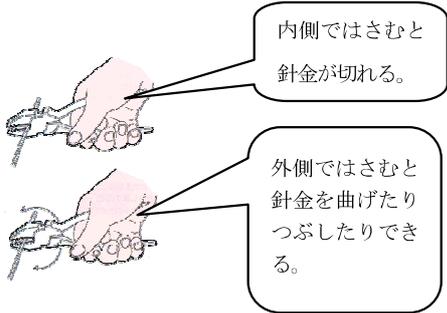
(小学校学習指導要領解説 外国語活動編 P14より)

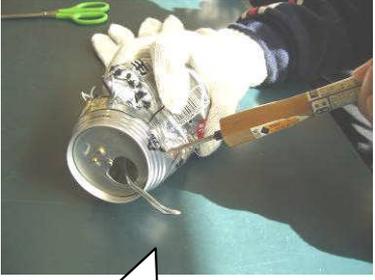
指導計画の位置付けを基にして、作品を外国語活動の時間においてショー・アンド・テル(発表活動)をする。簡単な英語を使って、自分のこだわっているポイントや工夫したところを伝えることを楽しむ。言葉によらないコミュニケーションの手段もコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、ジェスチャーなども付けてよいものとしたい。作品タイトルの一部に英語を用いたり、針金とペンチでタイトルの頭文字のアルファベットをつくったりして英語で友達に作品を伝えることなども考えられる。

【作家作品の鑑賞とタイアップ】

カルダー(針金を使った表現をするアメリカの彫刻家)の作品の鑑賞の時間をつくり、表現と鑑賞を関わらせた題材の計画をし〔共通事項〕を意識した取組も考えられる。

【授業の具体例】 4時間扱い

学習活動	時	評価規準	○支援や留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ペンチや針金の使い方の基礎を学びながら、用具に慣れる。 アイデアスケッチをかく。 廃材の形や針金の組合せ、丸め方や曲げ方により、自分の表したい形を膨らめていく。  <p>トイレットペーパーの芯を使ってコイル巻きにしよう。</p>	1	<p>【造形への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃材や針金の加工や釘打ちに関心を持ち、活動に取り組もうとしている。 <p>【発想・構想の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃材の組合せや針金のしぼり方や丸め方などから、表したいことを思い付いたり、形や作り方を考えたりしている。 	<p>○廃材や針金の切断や接合が安全にできるように、手本を示しながら分かりやすく教える。また、板書や掲示により、子どもたちが適宜、扱い方や安全面の約束を確認することができるようにする。</p>  <p>○ペンチや金切りばさみ等の使い方を教える。また、安全面に配慮し、金属の切り口などでけがをしないように指導する。</p> <p>○不要な短い針金を入れるコンテナや、アルミやスチール等に分けて端材を入れるコンテナなどを用意し、安全かつ材料を無駄にしない環境設定に努める。</p> <p>○つくりたいもののイメージが膨らむように、何をつくるということだけではなく、「どのように」や「どんな」というイメージを考えていくようにアドバイスする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 針金と廃材を組み合わせた作品づくりをする。   <p>穴を開けるには、きりを使おう。</p>	<p>2</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃材アートづくりに自分の思いを持って取り組もうとしている。 <p>傘の骨に布を付けよう。針金で固定できるかな？</p> <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペンチや金づち、きり等を十分に使い、いろいろな表し方や廃材や針金の組み合わせ方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルミや針金の接合や切断が思うようにできない子どもに対しては、部分的に手本を示したり、子どもの必要感に応じて友達の取組を紹介したりする。 ○作品自体の工夫だけでなく、用具の握り方、支点から作用点までの距離、針金のしめ具合など使い方の細かな変化を見取り価値付けていく。
<ul style="list-style-type: none"> 題名やこだわりのポイントをタイトル用紙に書く。 小グループでお互いの作品を鑑賞し合う。 こだわりのポイントを紹介し合う。 	<p>1</p> <p>【鑑賞の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分や友人の作品を見て話し合い、表し方の面白さやよさを感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく鑑賞し合えるように、作品が効果的に見える台紙や布等を子どもたち自身に用意させたり、選ばせたりして、互いの作品を紹介し合う場を設ける。 ○主題、針金やアルミの使い方や加工の仕方、色や模様工夫、立体感や大きさの工夫などの視点を具体的に示し、子どもたちが鑑賞するように支援する。 ○教室内や校内の適切な場所に展示し、平素の学校生活の中でも、作品を鑑賞できるようにする。

題材名「夢の空間 光トンネル」…〈ビニール造形遊び〉
小学校第5学年及び第6学年

【題材の目標】

- ・ビニールの特性を生かした活動や、活動によって生まれた光の美しさ、場所の特徴を生かした変化に興味を持ち、楽しくつくろうとしている。【造形への関心・意欲・態度】
- ・光の感じの違いや場所の特徴を生かした空間の変化などを基に活動を思い付き、自分のイメージに合う場所の構成を考えている。【発想や構想の能力】
- ・ビニールの特性や、光のあたる場所の特徴を生かした材料の配置や組み合わせ方を工夫している。【創造的な技能】
- ・活動によって生まれた光の美しさ、よさ、面白さを感じ取っている。【鑑賞の能力】

【題材の価値】

【造形遊びの価値(例)】

- ・子どもたちの様々なアイデアの変化を大切にするとともに、活動の過程を評価し、つくりだす喜びを味わえるようにしていきたい。高学年の発達に応じて、子どもたちが自分なりに材料を集めたり場所を探したりする。また、見る人がどのように感じるかなどに思いを巡らせながら構想できるようにしたい。

【子どもの実態と材料の経験(例)】

- ・絵や立体、工作に表す活動においてビニールは既に経験している材料である。しかし、この題材では大きなビニールや色のあるビニールを使用する。こうした材料の質の変化を取り入れることで新たな発想の広がりが見込まれる。そして、今までの経験を生かし、いくつかの表し方を組み合わせることなどを考慮しこの題材を設定した。

【子どもの実態と場所の経験(例)】

- ・場所においては、屋外や光の差し込む広い空間を設定した。ダイナミックな空間にすることにより、必要感のあるグループで活動ができるように設定をしたい。広い空間の中で一人一人が思い付いたことを出し合い、発想を刺激し合いながら活動が進められるように配慮をしたい。

【材料の価値(例)】

- ・ビニールには様々な色、形、大きさのものがある。また、ビニール製のロープなどと組み合わせて風になびかせて光の変化や影の変化を様々な構築することができる。ビニールの透過性を生かした光の変化と空間の変化の可能性を体験して知ることにより、つくりだす喜びを強く感じていけることが本題材の魅力であると考えられる。

【発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力などの価値(例)】

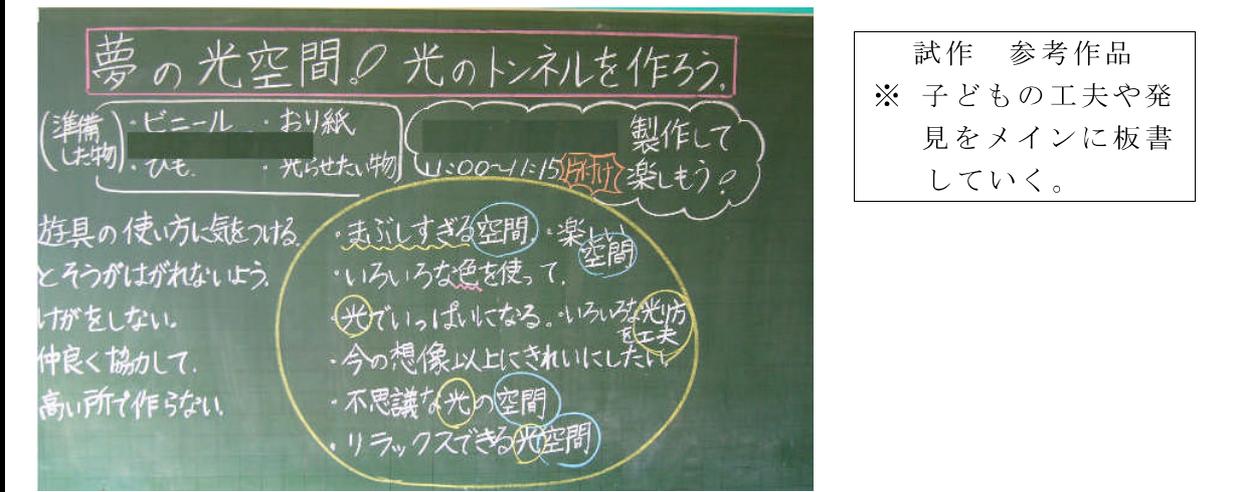
- ・ビニールの性質、光のあたり方、人の動き、場所の様子などに働き掛けて捉えた特徴や子どもの持ったイメージを基に、発想したり構想したりする能力を高めたい。

【「指導計画の作成と内容の取扱い」との関連】

第2の各学年の内容の「A表現」の指導については、適宜共同してつくりだす活動を取り上げるようにすること。

(小学校学習指導要領解説 図画工作編 P57より)

【板書例】



夢の光空間の光のトンネルを作ろう。

準備(した物) ・ビニール ・おり紙
・ひも ・光らせたい物

製作して楽しむ!

11:00~1:15

器具の使い方に気をつける
とろろがはがれないよう
けがをしない
仲良く協力して
高い所で作らない

・まぶしすぎる空間
・いろいろな色を使って
・光でいっぱいになる。いろいろな工夫
・今の想像以上にきれいにしたい
・不思議な光の空間
・リラックスできる光空間

試作 参考作品
※ 子どもの工夫や発見
見をメインに板書
していく。

【準備物の例】

- ・ビニール ビニールテープ ひも 光を反射する物 色紙 セロファン 段ボール
- ・ビニール袋 (資源回収のために使用) など

「静岡県ならではの」を生かした内容

【商店街の利用】

静岡県内には商店街や大規模店が点在している。また、梱包（こんぼう）のためのビニール袋などをつくる工場や、農業に使用するマルチやビニールハウス用のビニールを扱う企業がある。そこでは、ビニールの傘袋や、梱包用（こんぼうよう）のビニールが大量に廃棄されている現状がある。

子どもたち自身が材料を集めることも大切な学習となるが、家庭や地域の協力の下、豊富な材料を手に入れることができることもある。ただし、善意での資材提供であることに十分配慮して、協力を仰ぐことが大切である。また、提供のみの一方通行の関係にならないよう、取組の様子を手紙等で紹介したり、作品を見に来ていただいたりするなど双方向の関係が築けるようにしたい。

利用した資源のリサイクルにも心掛け、材料が無駄にならないようにすることが大切である。子どもたちが材料探しに出掛けたり、工場内に立ち入ったりすることは危険を伴うため、安全面にも十分配慮することが大切である。

【授業の具体例】 5時間扱い

学習活動	時	評価規準	○支援や留意点等
<ul style="list-style-type: none"> 安全や場所の約束を確認する。 ビニールを通した太陽光の効果を考えながら変えたい空間を見付け、必要感のあるグループで活動をする。 ビニールの組み合わせ方や、ビニールを付ける場所をいろいろ試す。 	1	<p>【造形への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビニールの特性を生かした活動や、活動によって生まれた光の美しさ、場所の特徴を生かした変化に興味を持ち、楽しくつくろうとしている。 <p>遊具を使ってみよう。ビニールを通ると、光の色が変わったよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○屋外の活動に適した時期にする。また、あらかじめ光の効果や安全面から場所をよく確認した上で、範囲を示す。目の届かないところや高所など危険な場所で製作しないように指導する。 ○ビニール袋は、子どもたち自身が集めたものに加えて、様々な種類のものを用意し、個々に応じて選べるように準備しておく。 ○表現に迷いのある子どもには、他の子どものやり方や見つけた場所を紹介したり、共につくったりするなどして適宜指導する。 ○接着や接合によって、外壁などの塗装を痛めないように指導する。
<ul style="list-style-type: none"> 自分のめあてに向かってつくる。 ビニール同士や他の材料との組み合わせ方を試し、場所全体に工夫を広げる。 	2	<p>【発想や構想の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の感じの違いや場所の特徴を生かした空間の変化などを基に活動を思い付き、自分のイメージに合う場所の構成を考えている。 <p>梱包（こんぼう）ビニールを使うと、光がゆらゆら変化してきれいだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な光の変化をつかめるようにする。また、互いの工夫を紹介しあって、より効果的な手順や技法をつかめる場を適宜設ける。 ○活動が進んでいる子どもには、他のグループの活動を鑑賞させることにより発想を広げる。 ○夢中になるあまり、刃物の使い方や置き方が乱雑にならないように安全について指導する。

		<p>ビニールのロープも組み合わせ合わせて素敵な空間ができたよ。</p>	<p>○活動の様子を、写真やビデオ等に適宜収めておき、作品の変化の様子も事後に鑑賞できるようにしておく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所全体に意識を広げて空間づくりを楽しむ。 ・互いの活動のよさを取り入れながら、光の感じの違いを試し、光の空間をつくっていく。 	<p>1</p>	<p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい光の変化をつくるために、ビニールの特性を生かして組み合わせたり、場所の特徴を生かしたりして工夫している。 <p>【造形への関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料を生かすことによって生まれる光の感じの変化に興味や関心を持ち、場所の特徴を生かして活動しようとする。 	<p>○図工ノートを使って学びの足跡を残し、振り返ることができるようにする。また、キーワードを示し、効果的な振り返りにつながるようにする。</p> <p>○それぞれの活動場所を回り、活動過程における個々の子どもの意欲、工夫、技法の向上などを、丹念に見取り、タイミングよく声掛けをする。</p> <p>○取組に迷いのある子どもに対しては、その理由を聞き、友達との関わりをつくったり授業者がアドバイスしたりするなど、適した解決方法を模索する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・互いの光の空間を鑑賞し、話し合う。 ・下級生を招待し、光の空間を案内する。(時間外) 	<p>1</p>	<p>【鑑賞の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動によって生まれた光の美しさ、よさ、面白さを感じ取っている。 	<p>○光の空間の中で友達の案内を聞くことにより、子どもたちが互いの工夫を感じ取れる場を設ける。</p> <p>○下級生にも、光を生かした空間を味わわせ鑑賞の輪を広げる。(時間外)</p> <p>○製作過程や完成したものを写真などに撮り、子どもたちが納得して片付けられるようにする。</p>